平成３０年９月吉日

企業ご担当者　各位

東京工業高等専門学校長
新　保　幸　一
【 公印省略 】

平成３０年度社会実装教育フォーラムの開催について（ご案内）

拝啓　貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

平素は東京高専の教育研究活動及び学生指導について、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本校では“KOSEN（高専）4.0 イニシアティブ事業”「広域多摩地域における社会実装教育拠点プロジェクト」が文部科学省より採択され、地域企業等の皆様のご協力も得て、「社会実装教育」の深化と拡大を目指しています。（「社会実装教育」については、添付資料をご覧ください。）

この度、同プロジェクトの成果発表の一環として、平成３１年３月１日（金）から２日（土）に「社会実装教育フォーラム」を開催いたします。昨年度は、全国２１高専、５０チーム、約１１０名（うち東京高専１１チーム、１９名）の学生が活動成果を発表し、今年度は昨年を上回る参加者を予定しています。

昨年度からの変更点としまして、企業関係者と高専生の交流会の新設、情報交換会への学生参加、企業案内の学生への配付など、企業の皆様と高専生の交流の場を増やす企画を多数ご用意してお待ちしております。

是非、この機会に「社会実装教育フォーラム」へご来場賜り、高専生の活動成果をご覧くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、昨年度の発表動画及び受賞ポスター集等を下記 URL に掲載しておりますので、ご高覧いただけますと幸いです。

URL：http://www.innovative-kosen.jp/社会実装教育フォーラム/平成 29 年度/

敬具

【本件に関する連絡先】
〒193-0997 東京都八王子市椚田町 1220-2
東京工業高等専門学校総務課企画係
Tel 042-668-5133
E-mail kikaku@tokyo-ct.ac.jp

平成30年度KOSEN（高専）4.0イニシアティブ採択事業

共同研究できる教員を発見したい！

創造的思考力と実践技術の優れた高専生を発見したい！

分野は…

建設系、機械系、
電気・情報系、
材料・化学系、
医療・介護・福祉系
等

INNOVATIVE JAPAN PROJECT BEYOND

観覧無料

平成30年度

社会実装教育フォーラム

学生のイノベーション活動を観たい！

学生の真摯で熱心なプレゼンテーションを観たい！

「ヒラメキ!」が社会を変える!

全国の高専生がイノベーション創出に挑戦し、
その活動を発表してコンテスト形式で評価する！

第1部

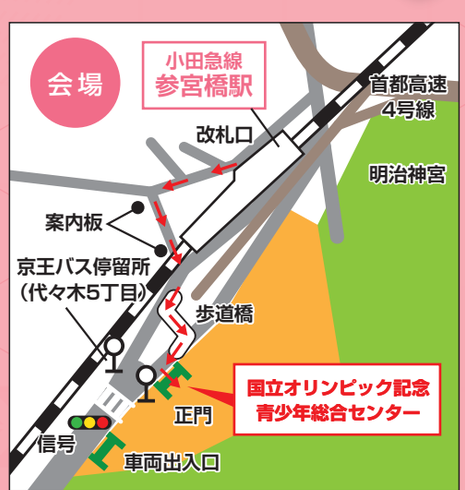
平成31年
3月1日（金）
13:00▶17:00
（受付12:00開始）

■学生チームがイノベーション創出に挑戦し、その活動を発表します。
【前半】ショートオーラル発表
【後半】ポスター発表

第2部

平成31年
3月2日（土）
9:00▶12:20
（受付8:30開始）

■優秀チーム８チームによるファイナル発表
■特別講演会
講師　谷口功氏
国立高等専門学校機構理事長



国立オリンピック記念青少年総合センター
（センター棟）
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1

主催　東京工業高等専門学校　　共催　一関工業高等専門学校・小山工業高等専門学校
後援　一般社団法人東京高専技術懇談会、八王子商工会議所、相模原商工会議所
審査員長　佐藤 知正 氏（東京大学名誉教授・元日本ロボット学会会長）

【お問合せ・お申込み先】**東京工業高等専門学校総務課企画係**

観覧をご希望の方は下記より「ご芳名・ご所属名・連絡先」を明記の上お申込みください。

email：kikaku@tokyo-ct.ac.jp　Fax：042-668-5090　Tel：042-668-5133
※お電話は平日９時～17時にお願いします

1560.indd 1　2018/06/11 18:57

― 観覧のお申し込みについて ―

以下５点をメールにて、下記担当あてお知らせください。

① 観覧希望日【3/1】【3/2】【両日】のいずれかをご指定ください。
② 観覧を希望される全員の方の　所属名・役職・ご芳名・連絡先（TEL・E-mail）
③ 情報交換会参加希望の有無（別途　3/1・17 時以降に学生との交流の場を設けます）
④ 企業案内（下記参照）の掲載希望の有無
⑤ 企業パンフレットの配付希望の有無

（担当者連絡先）
東京高専総務課企画係
E-mail：kikaku@tokyo-ct.ac.jp

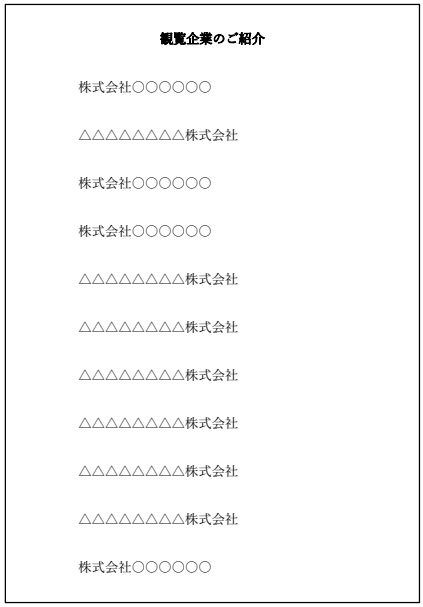
― 企業紹介について ―

観覧企業様の企業案内を参加学生に配布する事を予定しております。
掲載を希望される企業様は A5 サイズの原稿をご準備の上、上記担当までデータにて送付ください。掲載は無料となります。【提出期限：平成 31 年 1 月 31 日】
※採用情報等の就職に直接関する内容の掲載はご遠慮ください。

参考イメージ：「平成３０年度社会実装教育フォーラム」観覧企業のご紹介（案）（A4 版）

表紙

Ｐ２：観覧企業のご紹介


観覧企業のご紹介

株式会社○○○○○○

△△△△△△△△株式会社

株式会社○○○○○○

株式会社○○○○○○

△△△△△△△△株式会社

△△△△△△△△株式会社

△△△△△△△△株式会社

△△△△△△△△株式会社

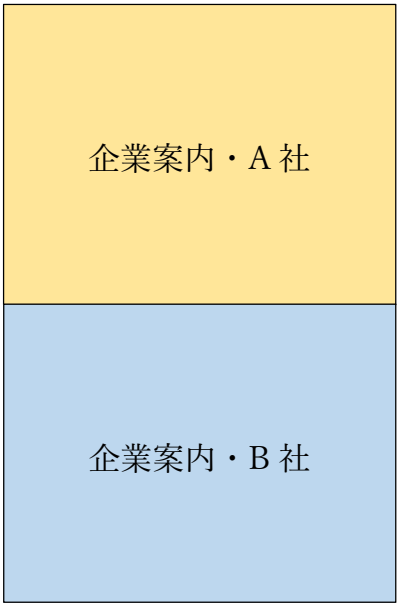
△△△△△△△△株式会社

△△△△△△△△株式会社

△△△△△△△△株式会社

株式会社○○○○○○

Ｐ３～：企業案内



＊その他、情報交換会及び企業パンフレット配布につきましての詳細を１２月以降に観覧申込時のアドレスへご案内いたします。

平成29年度・参加チーム一覧

No.	チーム	取組みテーマ
1	函館01	除雪作業の負担軽減を目的とした除雪ロボットの開発
2	函館02	高圧部へ火山礫を投入する装置の開発
3	一関01	社会実装指向型教育のための移動ロボットプラットフォームの開発
4	一関02	原子炉建屋内部の状況調査を目的とした廃炉作業移動ロボットの開発
5	一関03	橋梁の交通量の計測センサの開発
6	一関04	農業用水路に適したディフューザー式水車の開発
7	一関05	ステンドグラスを用いた二重窓ガラスの断熱性能について
8	一関06	一関市文化財のデジタル複製について
9	仙台01	重度肢体不自由児の文字（言語）獲得のためのeラーニングシステムの開発（第二報）
10	鶴岡01	抗菌性と美味しさの差別化を追求した環境循環型くん製ウッドの開発
11	小山01	赤外線サーモグラフィーを利用した壁面欠陥検出システムの開発
12	小山02	子ども向け図書館案内ロボットの利用実験と地域への調査
13	東京01	透析治療用止血バンドの構造改良
14	東京02	悪路走破用車椅子の開発
15	東京03	ロードコーンのハンドリングに関する一考察
16	東京04	自律移動ロボットの社会実装に向けて
17	東京05	培養神経細胞に対するひずみ衝撃試験装置の改良
18	東京06	応力聴診器を用いたボルト締結体の緩み検出技術の検討
19	東京07	ＩｏＴを活用した学校環境可視化システムの開発
20	東京08	呼吸筋トレーニングにおける持続方法の検討
21	東京09	無給電電力センサを用いた操業監視と省エネ対策
22	東京10	視覚障がい者ナビゲーションシステムの開発
23	東京11	土壌汚染の見える化への挑戦
24	長野01	建設現場で利用可能な気象観測ロボットの開発
25	長野02	健康管理を目的とした身体部位の周囲形状測定システム
26	長野03	街路整備に向けたアイトラッキングによる歩行空間評価手法の開発
27	長野・東京	地域行政の課題解決に向けたIoT技術の応用
28	沼津01	橋梁下面における作業員負荷軽減を目的としたロボットユニットの開発
29	鈴鹿01	各種副生物を原料とした釉薬作製の試み
30	舞鶴01	原子炉建屋内での作業を想定したロボットの製作
31	奈良01	動くLaQをつくろう！
32	和歌山01	視覚障害者の誘導のためのロボットの開発
33	呉01	特別支援学校や企業と連携して肢体支持器具を創る喜び
34	宇部01	オンライン上で入出庫・ポイントの管理ができる駐車場管理システム
35	阿南01	ため池の水位見張り番の開発
36	阿南02	難聴者向けのタブレットインターフォンの開発
37	阿南03	スマートフォンを用いた救急救命支援システムの開発
38	久留米01	視覚障がい者が実行できるプログラミング教材の開発
39	久留米02	ペットロボットをインターフェイスとした高齢者等の生活支援システムの開発
40	北九州01	快適空間づくりサポートシステムの開発
41	北九州02	注射薬自動読み取り装置の開発
42	佐世保01	プラズマ技術を用いた低温・ドライ殺菌装置の開発
43	都城01	親水化検知装置の開発
44	都城02	地方都市におけるまちの再生・活性化に向けた具体的方法論の実践と検討
45	鹿児島01	工作機械における熱変位補正に関する研究
46	沖縄01	水耕栽培の成長評価
47	沖縄02	路面の状態による車椅子の操作性と利用者への影響調査
48	沖縄03	肢体不自由児のための潅水用機材の製作と改良
49	沖縄04	聴覚障害児向け漢字学習アプリの開発
50	沖縄05	視野計測システムの開発